

アクチュアリー試験対策 生保2 想定小問 (平成26年用)

過去3年以内に出題された問題等、出題されないと想定される問題は省略。

1 生命保険会計

- 1.1 生命保険会計の意義および特徴について述べよ。(P1)
- 1.2 生命保険会計の特徴である超長期性、群団性、保険料構成要素の多様性を述べよ。(P2)
- 1.3 保険料に関する会計上の特性について述べよ。(P5)
- 1.4 生命保険会社の収益計上基準および費用計上基準について述べよ。(P7,14)
- 1.5 責任準備金の限度積立について述べよ。(P7,39)
- 1.6 支払準備金の意義および関連する法令を述べよ。また、IBNRの計算方法も述べよ。(P18)
- 1.7 会計の目的に応じた会計手法と、責任準備金の関係について述べよ。(P21)
- 1.8 基礎率の評価性を踏まえ、責任準備金評価と保険料計算の基礎率の関係を述べよ。(P25,48)
- 1.9 責任準備金の会計上の意義について述べよ。(P27)
- 1.10 責任準備金に関連する法令を列挙し、それぞれの概要を述べよ。(P32,法)
- 1.11 標準責任準備金の原則(特別勘定に関するものを含む)について述べよ。(P33,法)
- 1.12 標準利率の決定方法について、平成27年4月以降の契約から適用される見直しの内容および背景を述べよ。(P33)
- 1.13 標準責任準備金の対象外契約について述べよ。(P34)
- 1.14 追加責任準備金の積み立てについて、法令等を踏まえて述べよ。(P36,法,実務基準)
- 1.15 再保険に付した契約の責任準備金の不積立について、法令等をふまえて述べよ。(P37)
- 1.16 営業保険料式責任準備金について述べよ。(P45)
- 1.17 引当金の設定のための会計上の要件を述べよ。(S1P59,S6P19)
- 1.18 保有目的区分毎の有価証券の評価基準および為替差損益の扱いを述べよ。(P73,85)
- 1.19 貸倒引当金について述べよ。(P80)
- 1.20 有価証券評価損について述べよ。(P83)
- 1.21 利源分析における変額保険または変額年金に固有の項目を挙げよ。(P120)
- 1.22 保険種類別利源分析を行う場合の留意点を述べよ。(P138)

3 契約者配当

- 3.1 契約者配当を行う理由について述べよ。(P3)
- 3.2 契約者配当が高度な経営技術課題の一つである理由について述べよ。(P4)
- 3.3 決算利益を契約者還元するにあたっての留意点について述べよ。また、契約者配当財源の決定要因について述べよ。(P6,9)
- 3.4 契約者配当の分配原則について述べよ。また、契約者配当財源に関する契約者配当の特性からの留意点について述べよ。(P31,8)
- 3.5 相互会社の剰余金の分配の上限、社員配当準備金への繰入の上限および下限を規定する法令を述べよ。(P13,S1P115,法)
- 3.6 契約者配当の分配に関する公正・衡平の表す意味および、実務基準に記載されている公正・衡平の要件について述べよ。(P18,実務基準17)
- 3.7 無配当保険の意義について述べよ。(P20)
- 3.8 実務基準における契約者配当の確認の内容について述べよ。(P23,S1P114)
- 3.9 利源別配当方式とアセットシェア方式の概要および長所・短所を述べよ。(P34,H19)
- 3.10 3年目配当と2年目配当の特徴について述べよ。(P39)
- 3.11 利源別配当における利差配当率の設定のための留意点について述べよ。(P45)
- 3.12 利源別配当における危険差配当率の設定のための留意点について述べよ。(P47)
- 3.13 利源別配当における費差配当率の設定のための留意点について述べよ。(P48)
- 3.14 通常配当における調整配当の考え方について述べよ。(P51)
- 3.15 特別配当の考え方について述べよ。(P53)
- 3.16 5年ごと配当保険について、開発の背景および予定利率との関係について述べよ。(P60,63)
- 3.17 団体保険において危険差配当のみを還元している理由とその要素について述べよ。(P66)

5 事業費の管理・分析

- 5.1 事業費の範囲および分類について述べよ。(P7)
- 5.2 予定事業費枠の意義および役割について述べよ。(P18)
- 5.3 純保枠、蔵銀枠、利源枠の考え方、メリット・デメリットを述べよ。(P19)
- 5.4 初年度定期式の予定事業費枠について述べよ。(P29)
- 5.5 保険種類別事業費率の必要性について述べよ。(P50)
- 5.6 新契約費の持つ会計的意味(収入と支出の特徴)を述べよ。(P64,H19)

6 ソルベンシー

- 6.1 レディントンのイミュナイゼーションの概要および欠点を述べよ。(P5)
- 6.2 ソルベンシーマージン基準に関する法令を列挙し、それぞれの概要を述べよ。(P56,法)
- 6.3 ソルベンシーマージン比率の分母であるリスクの定義およびそれぞれの計算方法を述べよ。計算に用いられる主な係数についても述べよ。(P59,法)
- 6.4 ソルベンシーマージン比率の分子である資本金等の計算方法を述べよ。(P69)
- 6.5 価格変動準備準備金の積立基準、積立限度、取崩基準について述べよ。計算に用いられる主な係数、満期保有目的債券と責任準備金対応債券の扱いも述べよ。(S1P66,S6P72)
- 6.6 ソルベンシーマージンのうち、中核的支払余力について述べよ。また、中核的支払余力を用いて設定される他の項目の参入限度について述べよ。(P86,P168)
- 6.7 3号の2収支分析について、1号収支分析との違いを交えて述べよ。(法,実務基準33)
- 6.8 危険準備金Ⅰの積立限度と保険リスク、危険準備金Ⅳの積立限度と第三分野の保険リスク、価格変動準備金の積立限度と価格変動等リスクの値が異なる要因を述べよ。(P72)
- 6.9 ソルベンシーマージン比率が200%を下回った場合の早期是正措置を述べよ。(P87)
- 6.10 区分等を定める命令の第1区分および第2区分の内容の相違点、および、求められる改善までの期間について述べよ。(P90,監督指針II-2-2-2(2))
- 6.11 「ソルベンシーマージン比率の分子」、「実質資産負債差額」、「事業継続基準における資産と負債の差額」の違いの要因となる項目について述べよ。(P90,P133,H16,H19)
- 6.12 フォーミュラ方式による静的なソルベンシーの検証およびその限界を述べよ。(P95)
- 6.13 1号収支分析について述べよ。(P114,H17,実務基準)
- 6.14 3号収支分析について述べよ。1号収支分析との違いも述べよ。(P132,実務基準,H21)
- 6.15 ストレステストの意義および留意点を述べよ。(監督指針II-2-6-2)

7 内部管理会計

- 7.1 内部管理会計の意義および必要性について述べよ。(P1)
- 7.2 会計方式における資産負債法および繰延法について述べよ。(P6)
- 7.3 潜在価値会計におけるキャッシュフロー計算の前提条件の設定方法を述べよ。(P15)
- 7.4 潜在価値会計におけるフリーサープラスの評価について述べよ。(P21)
- 7.5 潜在価値会計における資本コストおよびフリクショナルコストについて述べよ。(P22,40)
- 7.6 潜在価値会計における利源分析について述べよ。(P27)
- 7.7 市場整合的EVと伝統的EVの相違点について述べよ。(P38)
- 7.8 区分経理における運用資産の管理について述べよ。(P46)
- 7.9 区分経理における全社区分の機能と財源、自己資本の機能について述べよ。(P47,S6P21)
- 7.10 区分経理における商品区分と全社区分との取引について述べよ。(P47)

8 相互会社と株式会社

- 8.1 相互会社における内部留保について、実費主義および社員権の面から述べよ。(P17,19)
- 8.2 保険相互会社と保険株式会社の会計上の相違点について述べよ。(P32)
- 8.3 高料率高配当か低料率低配当かを判断する場合に考慮すべき点を述べよ。(P52)
- 8.4 無配当保険の販売について、相互会社・株式会社それぞれの場合の収益性・健全性確保の観点から述べよ。(P54)

5 変額年金保険 (保険 1)

- 5.1 最低保証部分の責任準備金等を評価するためのアプローチである、CTE アプローチとリスク調整済み期待値アプローチについて述べよ。(P11,H21)
- 5.2 最低保証に係る標準責任準備金の計算方法について、代替的方式を含めて述べよ。(P24)
- 5.3 最低保証に係る保険料積立金において、予定解約率を使用する際の留意点を述べよ。(P25, 監督指針 II-2-1-3-1)
- 5.4 最低保証リスクの計算方法について述べよ。代替的方式(適用のための要件を含む)、ヘッジの扱い(反映のための要件を含む)についても述べよ。(P26,S6P63, 告示 50 号)
- 5.5 変額年金保険におけるヘッジの種類、概要、モデルリスクについて述べよ。(P29)

7 医療保険 (保険 1)

- 7.1 医療保険における入院責任準備金、支払備金、IBNR 備金の違いについて述べよ。(P21)
- 7.2 第三分野保険のストレステスト、負債十分性テストの概要を述べよ。また、実施にあたっての留意点を述べよ。(P25,28, 監督指針 II-2-1-2(7))

0 資産負債管理 (IAIS の ALM イシューペーパー)

- 0.1 保険契約の組み込みオプションのうち、ALM で考慮すべき点を挙げよ。(p11)
- 0.2 資産負債管理の測定手法について述べよ。(p33)
- 0.3 静的ヘッジと動的ヘッジの長所と短所を挙げよ。(p64)
- 0.4 ヘッジがもたらしうる他のリスクを挙げよ。(p65)